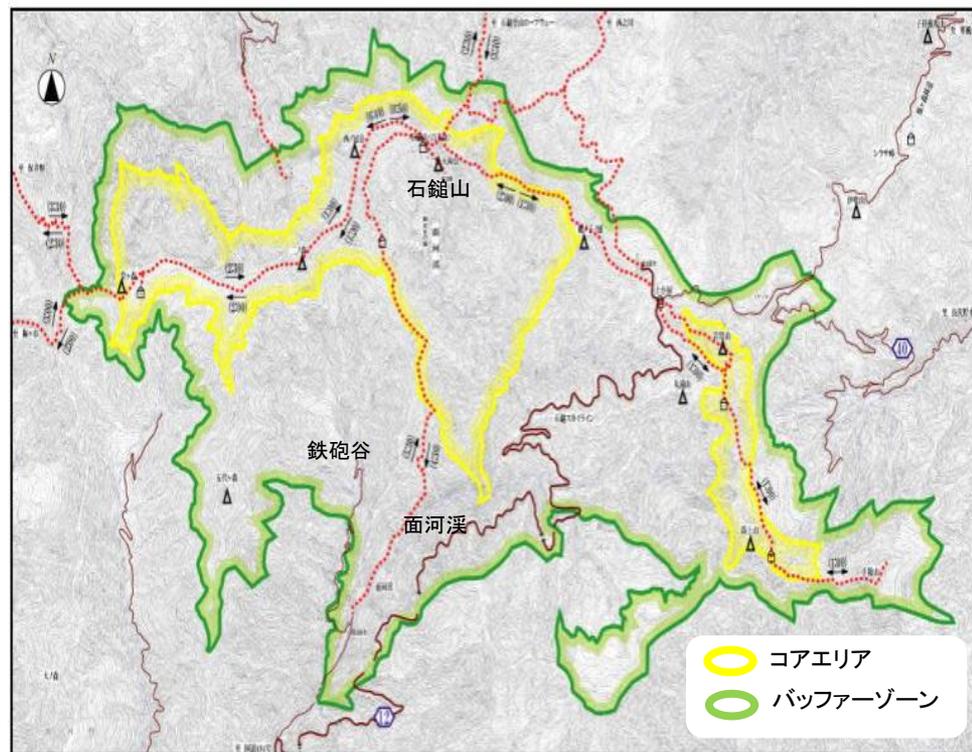


管内保護林の概要

各保護林の概要

管轄：愛媛森林管理署・嶺北森林管理署

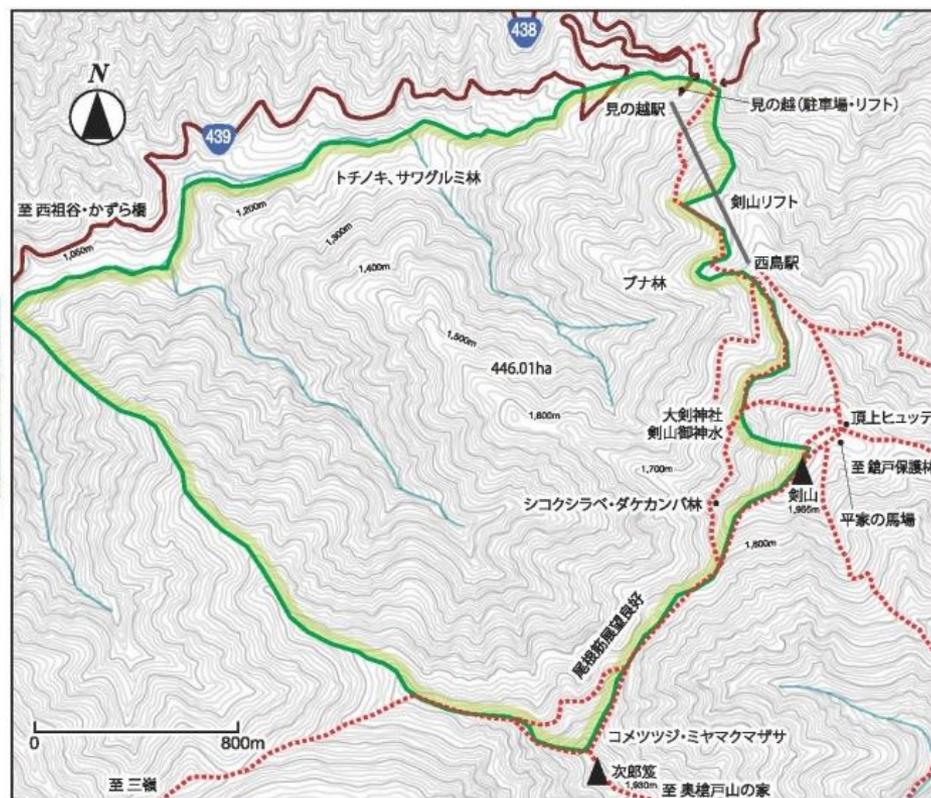
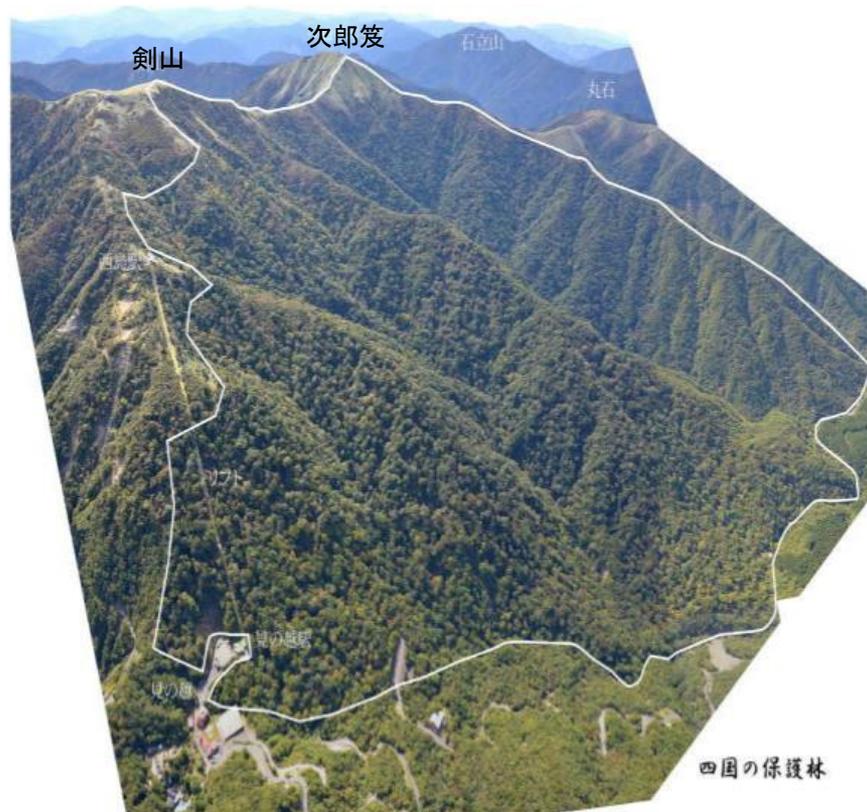
森林生態系保護地域		設定	平成2年	
名称	石鎚山系森林生態系保護地域		面積	4,244.86ha
位置	愛媛県西条市、久万高原町、高知県のいの町、仁淀川町 国有林内			
概況	面河溪から石鎚山山頂(1,982m)まで標高差約1,300mの地域。暖温帯林、冷温帯林、亜寒帯林に至る植生の垂直分布を有する。多様性に富んだ南方系及び北方系の動植物が生息・生育する。			



各保護林の概要

管轄：徳島森林管理署

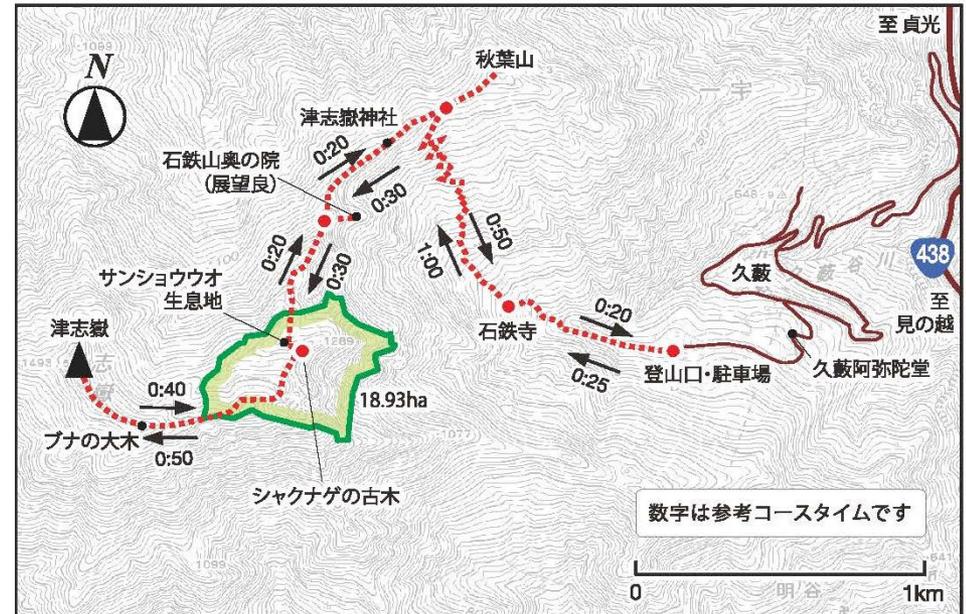
植物群落保護林	設定	平成25年	面積	446.01ha
名称	つるぎさん 剣山植物群落保護林		面積	446.01ha
位置	みよしし なごろだにやま 徳島県三好市 名頃谷山国有林内			
概況	祖谷川の河畔から剣山山頂(1,955m)まで標高差約900mの地域。冷温帯林から亜寒帯林まで、多様なタイプの植生が見られる天然林。			



各保護林の概要

管轄：徳島森林管理署

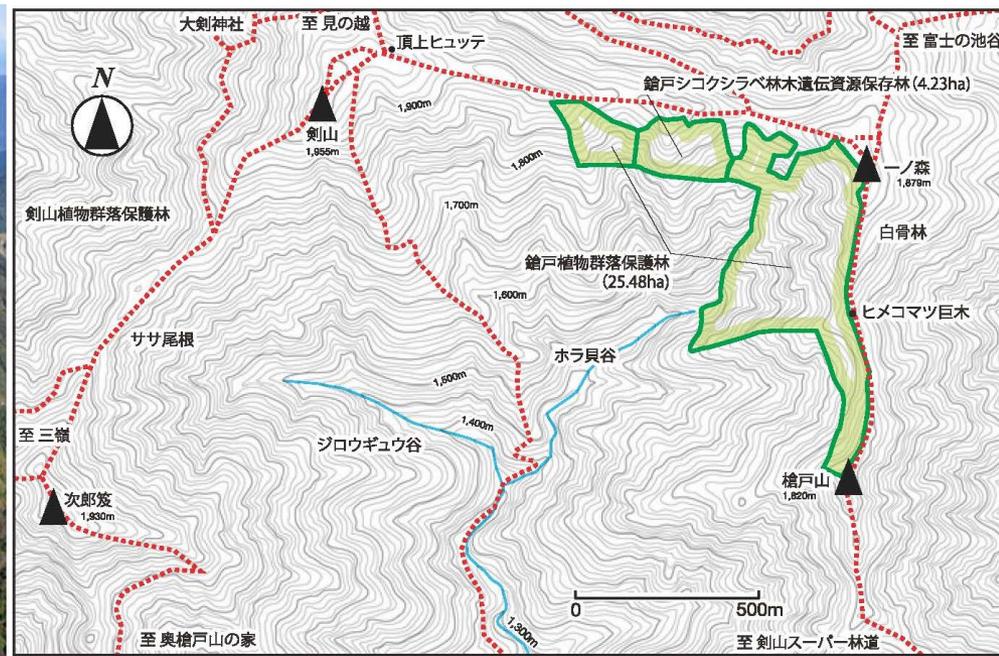
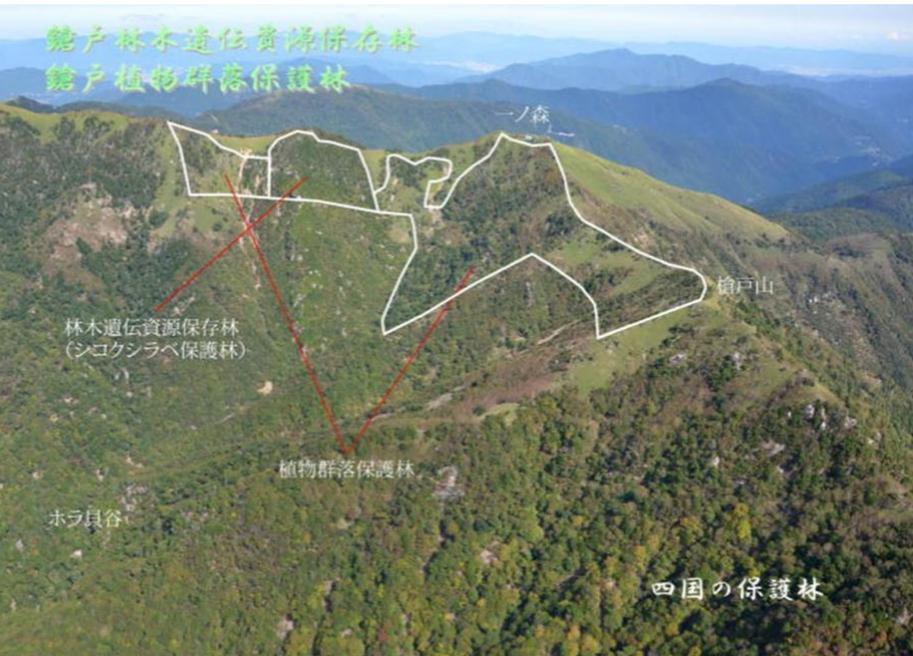
郷土の森		設定	平成23年	
名称	つしだけ 津志嶽シャクナゲ郷土の森		面積	18.93ha
位置	徳島県つるぎ町 久藪国有林内			
概況	信仰の山として知られる津志嶽の中腹に広がるシャクナゲ群落。広葉樹主体の天然林の中に、シャクナゲの老木・古木が群生する。			



各保護林の概要

管轄：徳島森林管理署

植物群落保護林	設定	平成25年		
名称	やりど 鎗戸植物群落保護林		面積	25.48ha
位置	なかちょう やりどやま 徳島県那賀町 鎗戸山国有林内			
概況	シコクシラベ、ヒメコマツ、コメツガ、ウラジロモミなどの針葉樹からなる、四国では限られた高標高地にしか見られない亜寒帯林。鎗戸シコクシラベ林木遺伝資源保存林をはさむ。			



各保護林の概要

管轄：徳島森林管理署

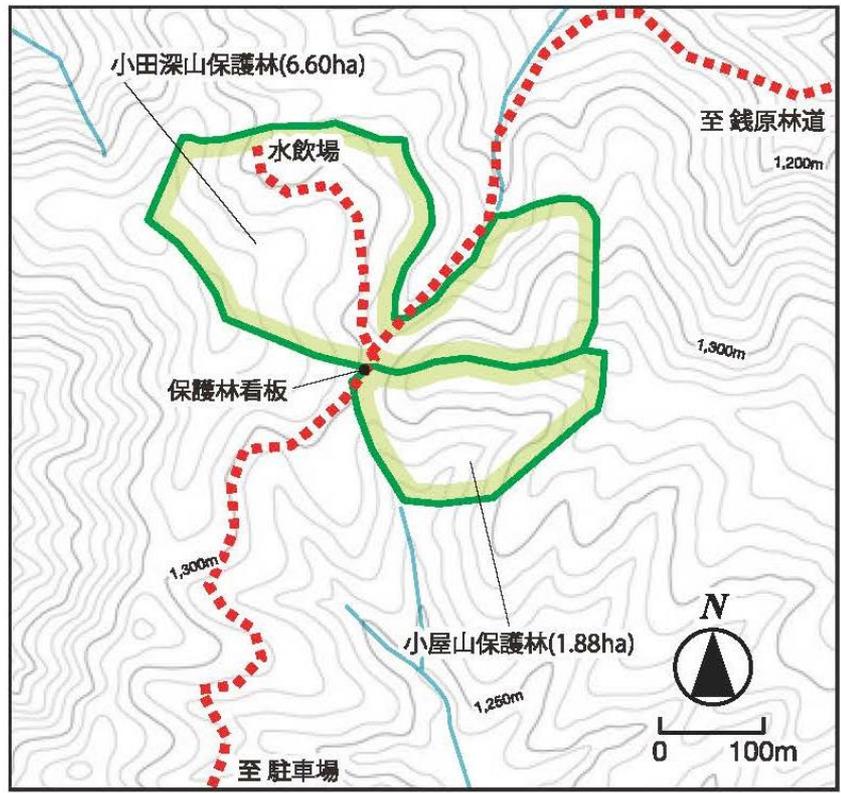
林木遺伝資源保存林	設定	平成3年		
名称	やりど 鎗戸シコクシラベ林木遺伝資源保存林		面積	4.23ha
位置	なかちょう やりどやま 徳島県那賀町 鎗戸山国有林内			
概況	鎗戸植物群落保護林にはさまれたシコクシラベの純林。			



各保護林の概要

管轄：愛媛森林管理署

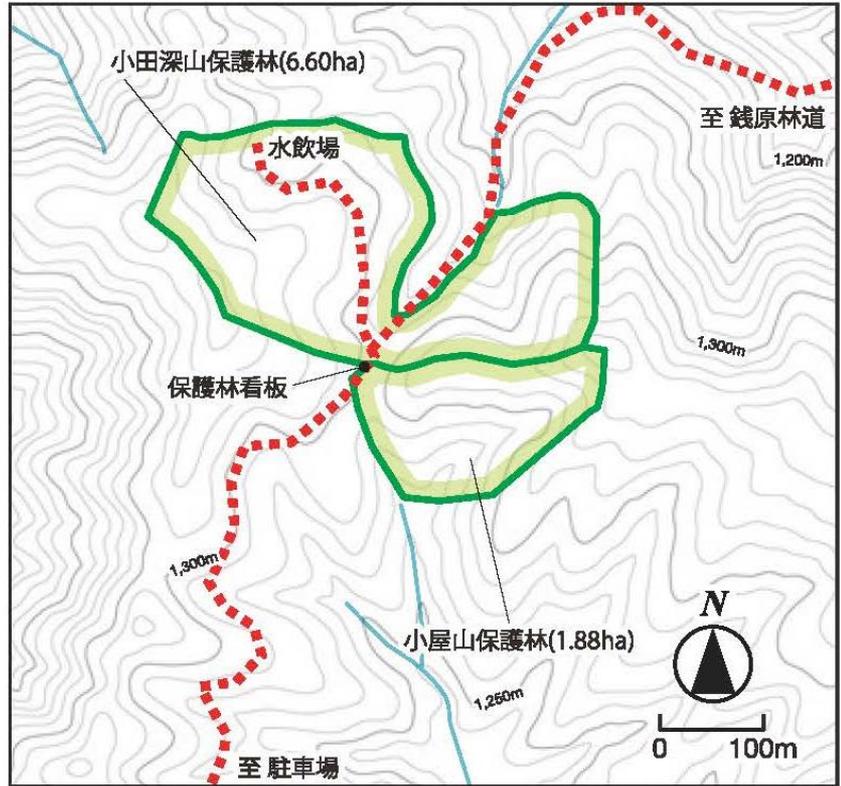
林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和2年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	おだみやま 小田深山ブナ林木遺伝資源保存林		面積 6.60ha
位置	うちこちょう 愛媛県内子町 小田深山国有林内		
概況	地域の代表的なブナの純林。小屋山ブナ林木遺伝資源保存林と隣接する。		



各保護林の概要

管轄：愛媛森林管理署

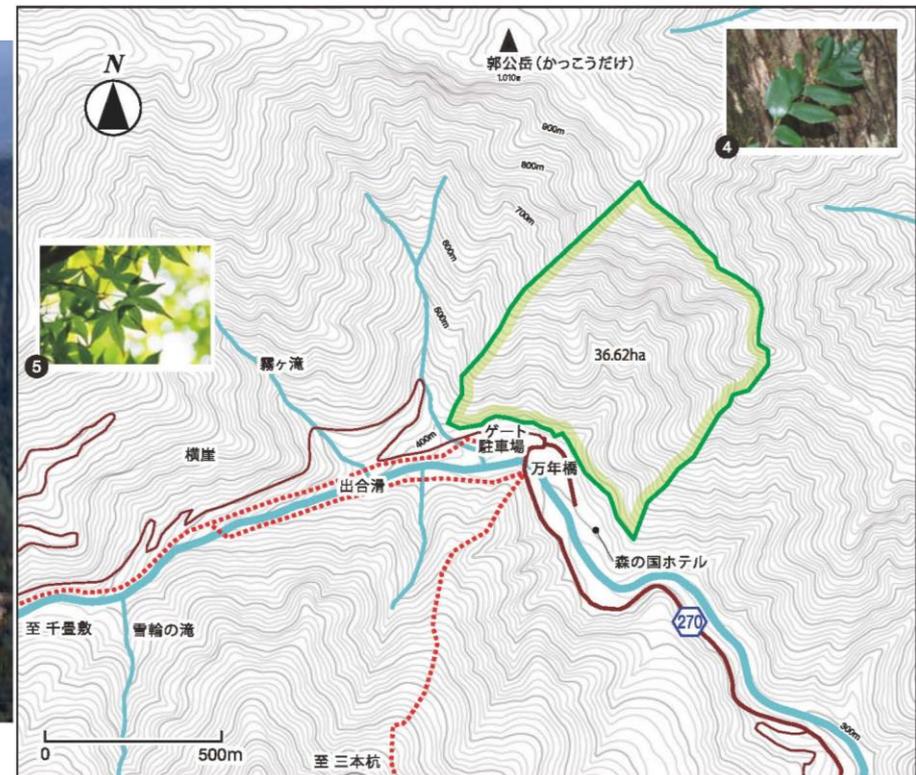
林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和2年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	こややま 小屋山ブナ林木遺伝資源保存林		面積 1.88ha
位置	せいよし 愛媛県西予市 小屋山国有林内		
概況	地域の代表的なブナの純林。小田深山林木遺伝資源保存林に隣接する。		



各保護林の概要

管轄：愛媛森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和62年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	なめとこやま 滑床山ウラジロガシ林木遺伝資源保存林	面積	36.62ha
位置	うわじまし 愛媛県宇和島市 滑床山国有林内		
概況	樹齢約200年のウラジロガシ、アカガシ、カエデ類を主体とする暖温帯林。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和48年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	こすじうねやま 小筋畝山コウヤマキ林木遺伝資源保存林	面積	18.42ha
位置	つのちょう 高知県津野町 小筋畝山国有林内		
概況	いらすやま コウヤマキの純林。四万十川源流域の不入山の麓にあり、江戸時代までお留め山として伐採が禁止され、現在に至るまで保護されてきたもの。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和24年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)	
名称	かじがたにやま 梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林	面積	8.51ha	
位置	しまんとちょう 高知県四万十町 梶ヶ谷山国有林内			
概況	モミの巨木が林立する天然林。古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。			



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

林木遺伝資源保存林

設定
変更

昭和24年
平成2年

学術参考保護林
名称変更(林木遺伝資源保存林)

名称	ふるやま 古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林	面積	8.88ha
位置	しまんとちょう 高知県四万十町 古屋山国有林内		
概況	おおどうまつ 大道松として知られる優良なアカマツの天然林。梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	昭和57年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	さだやま 佐田山シイ林木遺伝資源保存林		面積 10.98ha
位置	とさしみずし 高知県土佐清水市 佐田山国有林内		
概況	樹齢150年を超えるシイ(スダジイ)やアカガシの大木が林立する天然林。シイの根に寄生するヤッコソウが自生する。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	大正10年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	つるばやま 弦場山ウバメガシ林木遺伝資源保存林		面積 1.47ha
位置	おおつきちよう 高知県大月町 弦場山国有林内		
概況	樹齢約150年のウバメガシの大木が林立する天然林。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

植物群落保護林	設定 変更	昭和48年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(植物群落保護林)
名称	鷹取山植物群落保護林	面積	87.97ha
位置	高知県檜原町 鷹取山国有林内ほか		
概況	モミを主体とし、ツガ・ヒノキなどの針葉樹に混じって、アカガシ、スダジイ、ホウノキなどの広葉樹が生育する天然林。「ゆすはら郷土の森」に隣接する。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

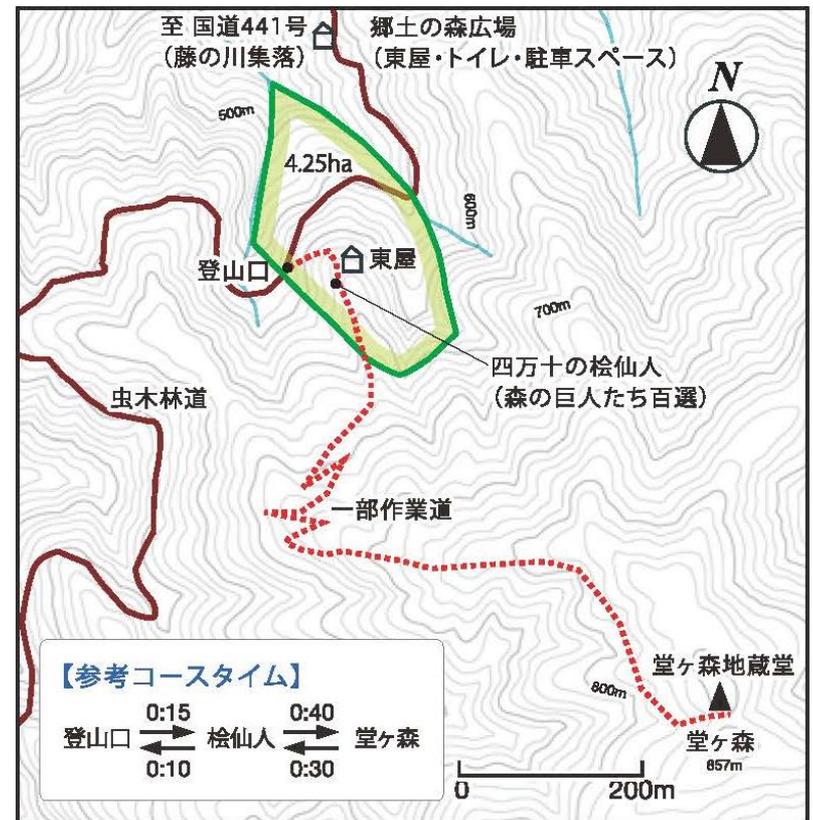
郷土の森	設定	平成6年		
名称	ゆすはら郷土の森		面積	7.29ha
位置	高知県 <small>ゆすはらちょう</small> 檮原町 <small>たかとりやま</small> 鷹取山国有林内			
概況	モミを主体に広葉樹が混交している林齢約200年の天然林。鷹取山植物群落保護林に隣接する。			



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

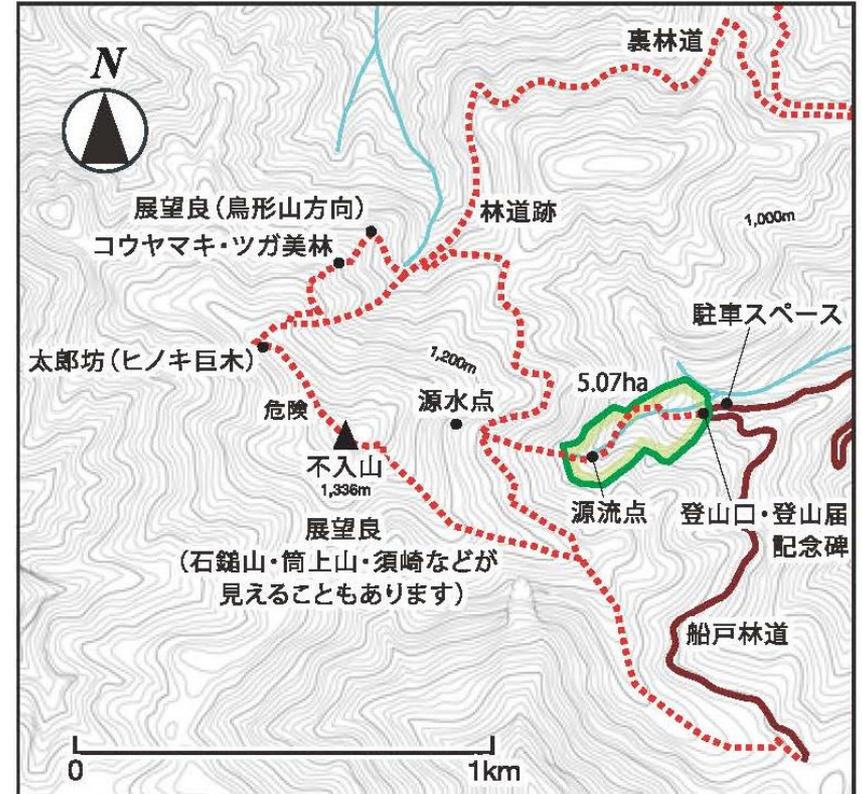
郷土の森	設定	平成3年	
名称	西土佐郷土の森	面積	4.25ha
位置	高知県 <small>しまんとし</small> 四万十市 <small>つえがおやま</small> 杖ヶ尾山国有林内		
概況	林齢約80年のスギ・ヒノキの人工林の中に、林齢約300年の天然ヒノキが群生している。		



各保護林の概要

管轄：四万十森林管理署

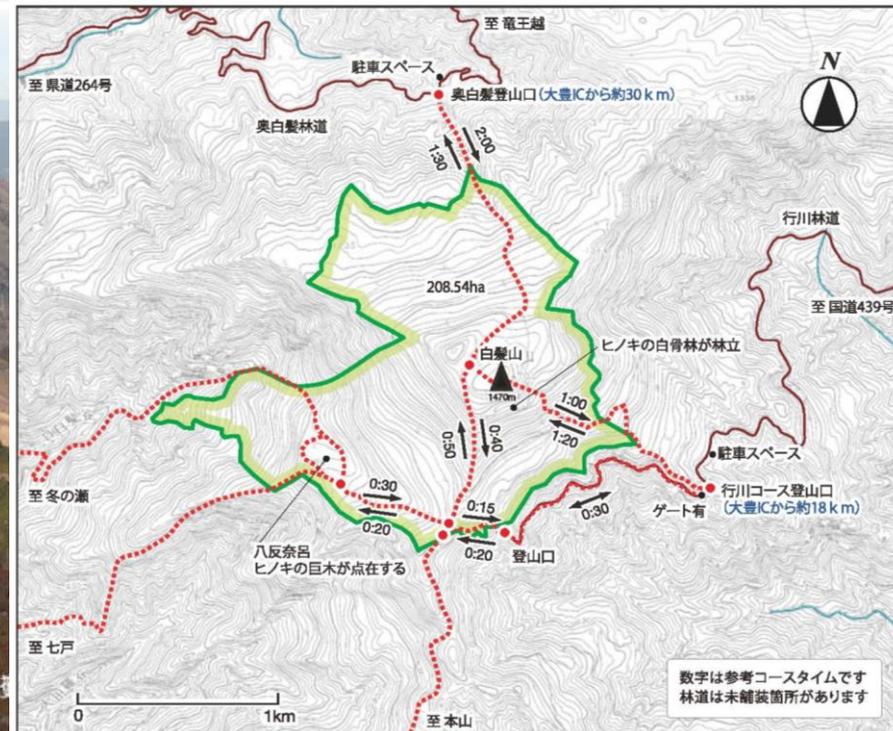
郷土の森	設定	平成8年		
名称	四万十源流郷土の森		面積	5.07ha
位置	高知県津野町 <small>つのちよう ふなとやま</small> 船戸山国有林内			
概況	<small>いらずやま</small> 不入山を源とする四万十川の源流点があり、スギ・ヒノキ人工林の中の沢沿いに、ホオノキ、コウヤマキなど多くの樹種が生育する。			



各保護林の概要

管轄：嶺北森林管理署

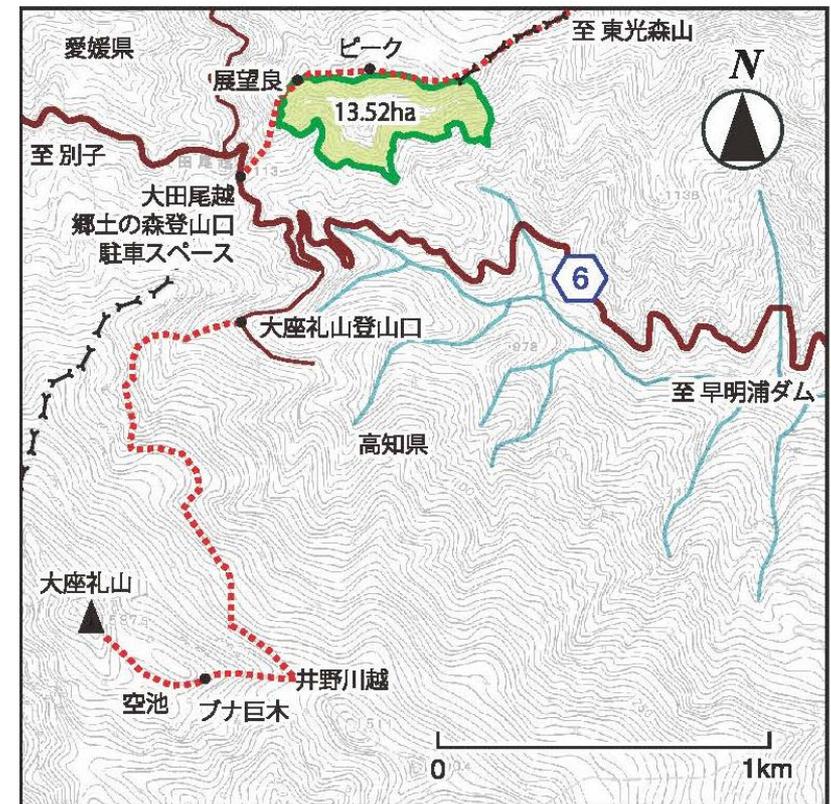
林木遺伝資源保存林	設定 変更	大正4年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	しらがやま 白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林	面積	208.54ha
位置	もとやまちょう 高知県本山町 白髪山国有林内ほか		
概況	蛇紋岩からなる地質のため広葉樹が発達せず、天然ヒノキが多く自生している。立ち枯れした白骨林や、ヒノキの根が「たこ足状」に広がった「根下がリヒノキ」(県指定天然記念物)が見られる。		



各保護林の概要

管轄：嶺北森林管理署

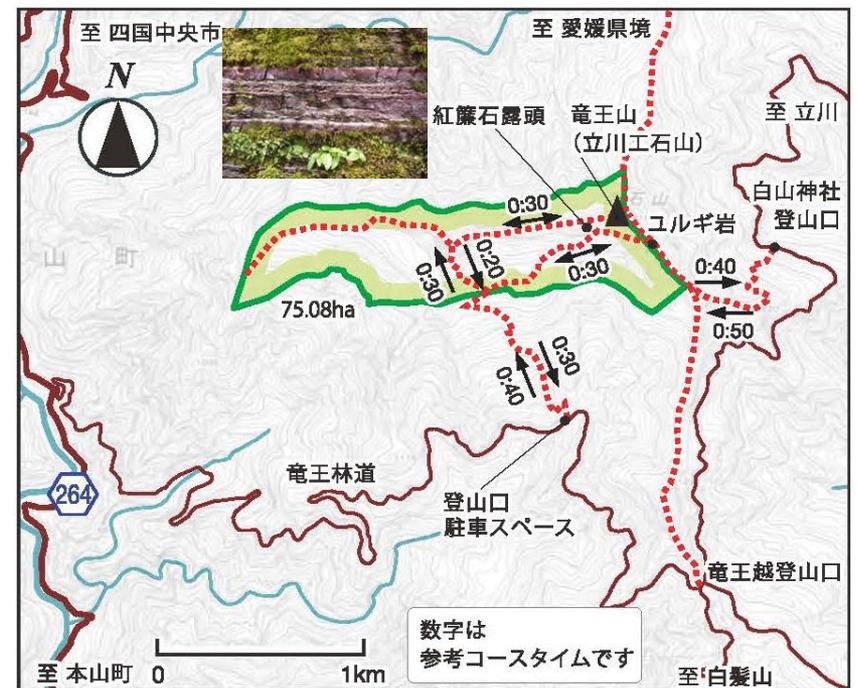
郷土の森	設定	平成8年		
名称	土佐のてっぺん郷土の森		面積	13.52ha
位置	高知県大川村 <small>おおかわむら</small> 北川山 <small>きたがわやま</small> 国有林内			
概況	ブナ・ミズナラ・モミ・カエデ類・ヒノキ・ヒメコマツなどが生育する天然林。尾根筋の風衝地ではアケボノツツジが見られる。			



各保護林の概要

管轄：嶺北森林管理署

郷土の森		設定	平成22年	
名称	高知県・本山町 ^{りゅうおうやま} 竜王山郷土の森	面積	75.08ha	
位置	高知県 ^{もとやまちょう} 本山町 竜王山国有林内ほか			
概況	ブナ、トチノキ、ミズナラ等の広葉樹が生育する天然林。下層木としてシャクナゲ、アケボノツツジなども見られる。地質的に希少な「 ^{こうれんせき} 紅簾石」の大露頭が区域内に存在。			



各保護林の概要

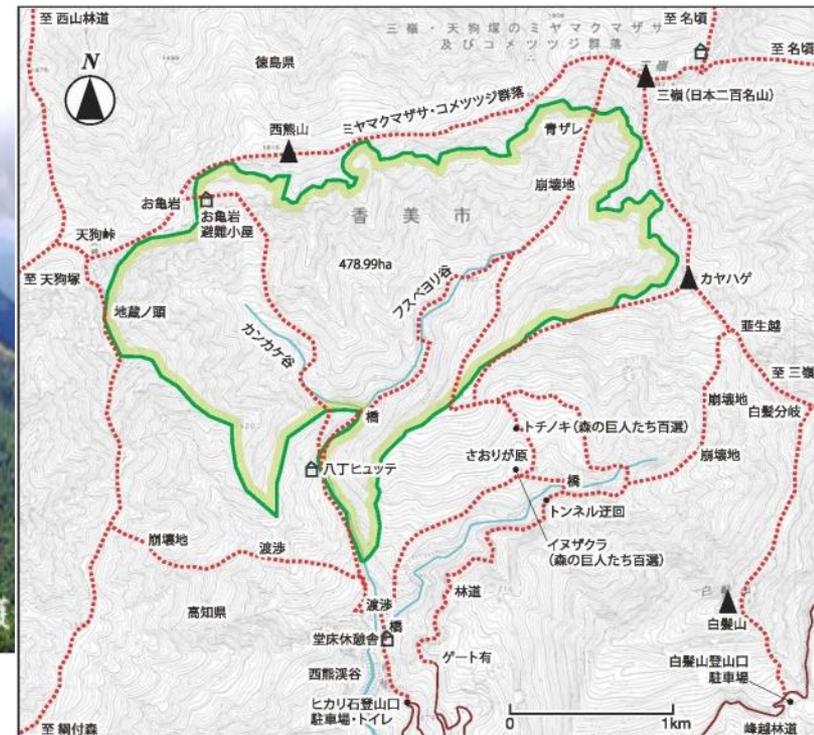
管轄：高知中部森林管理署

植物群落保護林

設定

平成17年

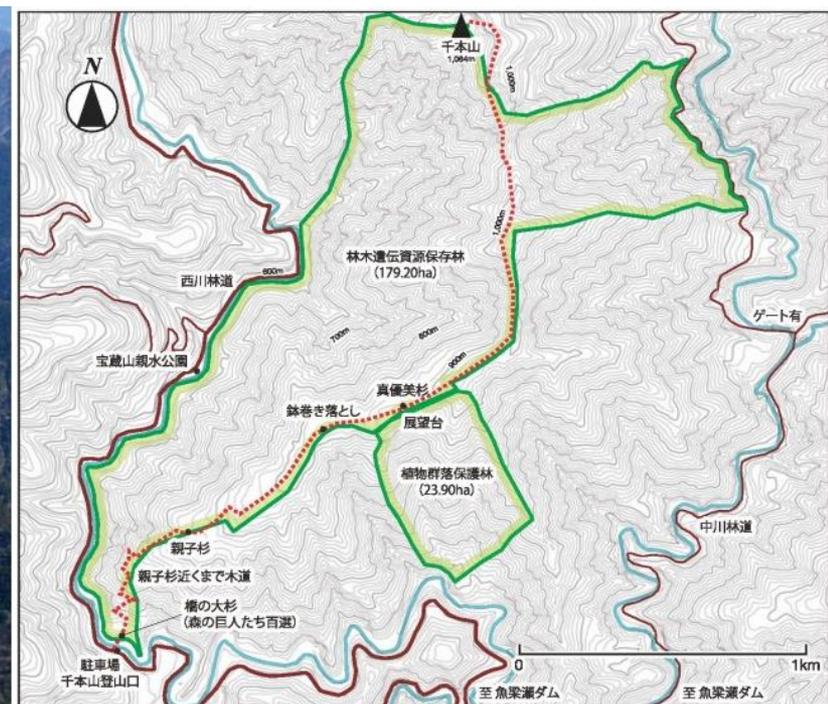
名称	にしくまやま 西熊山植物群落保護林	面積	478.99ha
位置	かみし 高知県香美市 西熊山国有林内		
概況	標高差約700m、暖温帯から冷温帯にかけて、ブナ、モミ、ツガ、ケヤキ等の多様な樹種が連続して分布する天然林。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

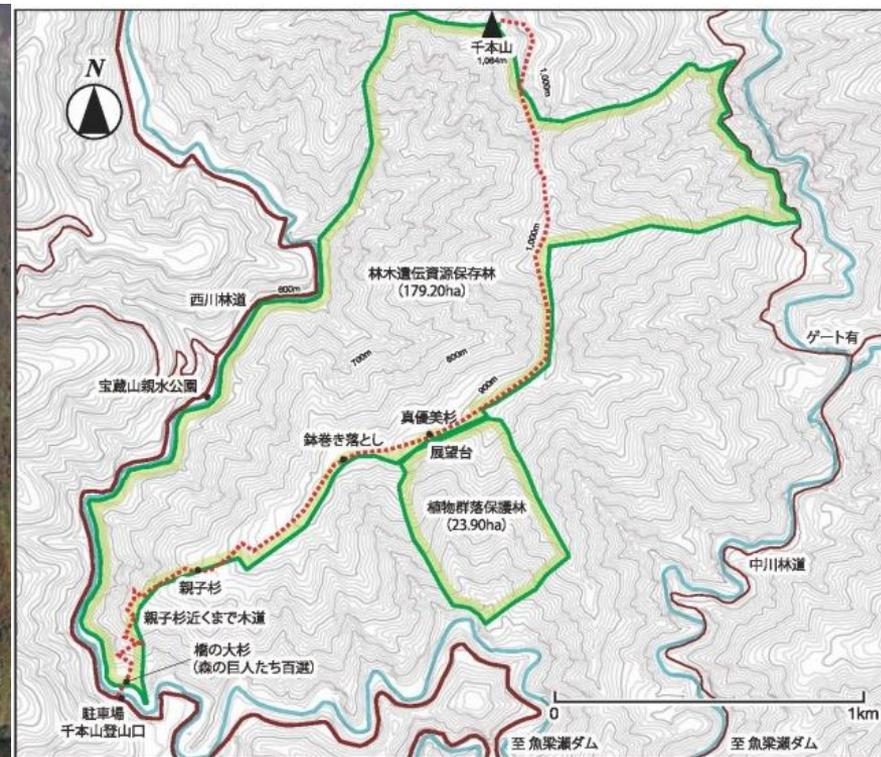
林木遺伝資源保存林	設定 変更	大正7年 学術参考保護林 昭和2年・昭和47年 面積追加 平成2年 名称変更(林木遺伝資源保存林)	
名称	せんぼんやま 千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林	面積	179.20ha
位置	うましむら 高知県馬路村 千本山国有林内ほか		
概況	樹齢200～300年といわれる天然ヤナセスギが1,000本以上林立している。千本山植物群落保護林と隣接する。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

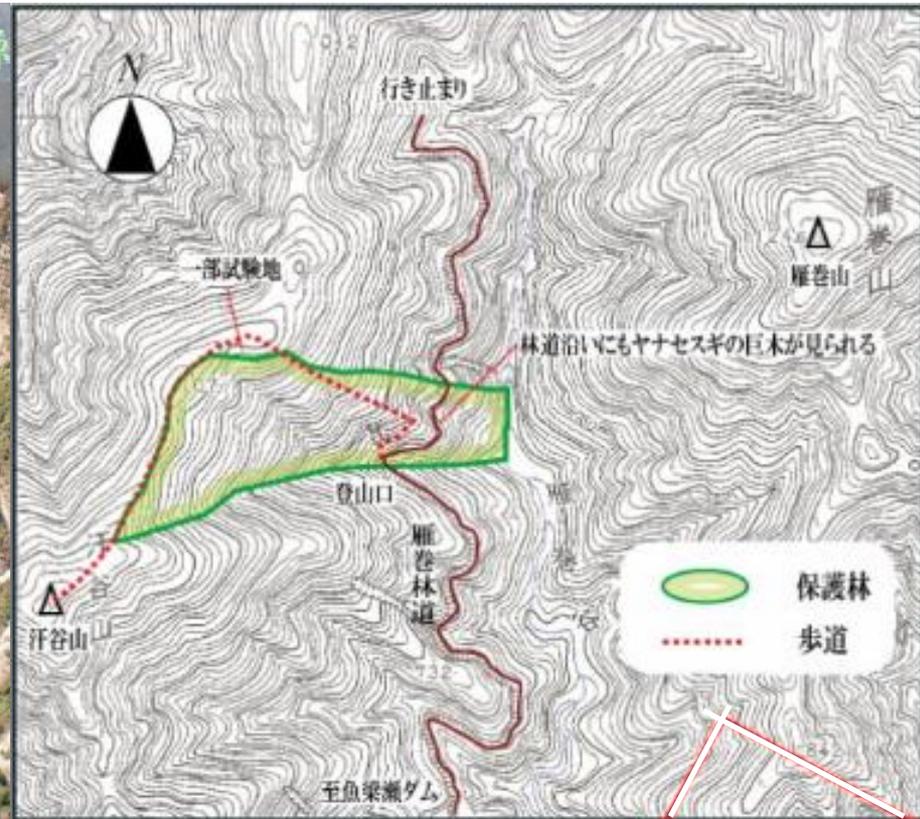
植物群落保護林	設定 変更	昭和37年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(植物群落保護林)
名称	せんぼんやま 千本山植物群落保護林	面積	23.90ha
位置	うまじむら 高知県馬路村 千本山国有林内		
概況	ヤナセスギの遺伝子を将来にわたり継承するため、大正時代に植林された90年を超える人工林。千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林と隣接する。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

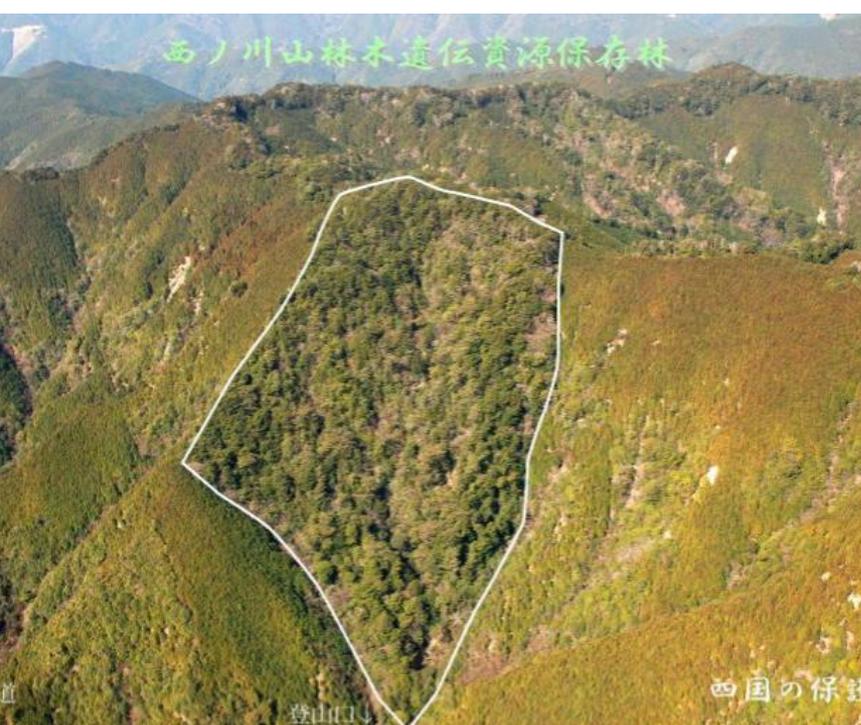
林木遺伝資源保存林		設定	平成2年	
名称	がんまきやま 雁巻山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林	面積	20.98ha	
位置	うまじむら 高知県馬路村 雁巻山国有林内			
概況	樹齢200年以上の「千本山」と並ぶ優良な天然ヤナセスギの林分。			



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	大正5年 学術参考保護林 平成2年 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	にしのごやま 西ノ川山トガサワラ林木遺伝資源保存林	面積 7.88ha
位置	あきし みまいだにやま 高知県安芸市 見舞谷山国有林内	
概況	モミ・ツガ林の中にトガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。(トガサワラは、四国の魚梁瀬地方と紀伊半島の大台ヶ原山系にのみ自生する希少な樹種)	



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

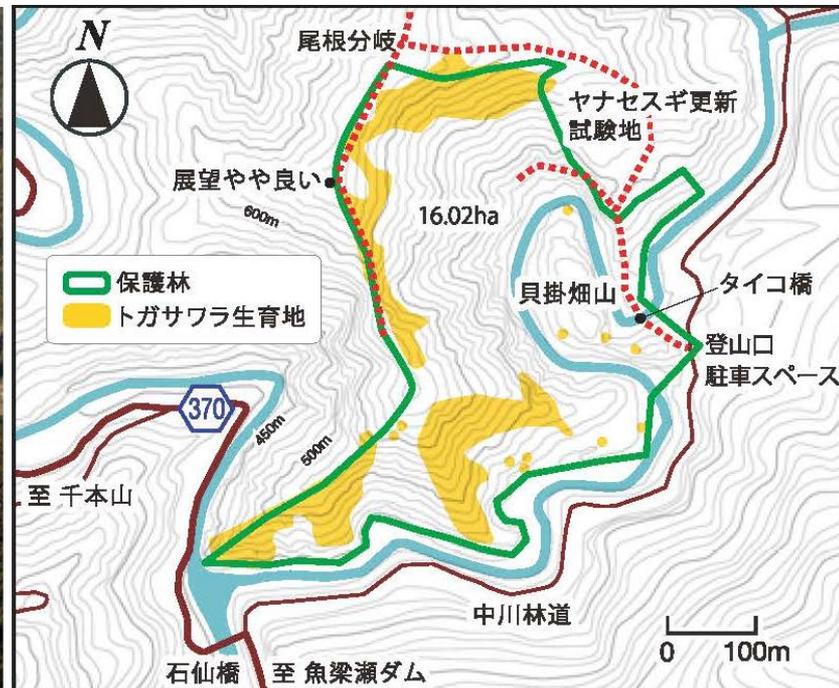
林木遺伝資源保存林

設定
変更

昭和43年
平成2年

学術参考保護林
名称変更(林木遺伝資源保存林)

名称	やなせ 魚梁瀬トガサワラ林木遺伝資源保存林	面積	16.02ha
位置	うまじむら 高知県馬路村	かいがけはたやま 貝掛畑山国有林内	
概況	トガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。トガサワラ以外にも、ヤナセスギ、ヒノキ、モミ、ツガ、コウヤマキの、いわゆる「魚梁瀬の六木」が揃っている。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

林木遺伝資源保存林

設定
変更

昭和48年
平成2年

学術参考保護林
名称変更(林木遺伝資源保存林)

名称	やすだごうやま 安田川山トガサワラ林木遺伝資源保存林	面積	4.31ha
位置	うまじむら 高知県馬路村 安田川山国有林内		
概況	樹齢約100年の比較的若いトガサワラ林。伐採後に自然に発生したトガサワラを保存してきたもの。四国では最もまとまったトガサワラ林。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

林木遺伝資源保存林	設定 変更	大正10年 平成2年	学術参考保護林 名称変更(林木遺伝資源保存林)
名称	よこあれやま 横荒山モミ・ツガ林木遺伝資源保存林	面積	81.20ha
位置	あきし 高知県安芸市 横荒山国有林内		
概況	主にモミとツガが生育し、ヤナセスギやブナ、ミズメ、カエデ類が混生している天然林。		



各保護林の概要

管轄：安芸森林管理署

郷土の森		設定	平成24年	
名称	さきはま 佐喜浜躍動天然杉郷土の森	面積	18.29ha	
位置	むろとし だんのたにやま 高知県室戸市 段ノ谷山国有林内			
概況	ウラジログシ、ツブラジイ等の常緑広葉樹林の中に、天然スギの巨木が群生している。室戸ユネスコ世界ジオパークの認定区域に含まれる。			

